

や しき ばん がく ちよう かい さん ほく ろく し し まい ばん がく
屋敷番楽保存会(鳥海山北麓獅子舞番楽)
あき た けん ゆ り ほん じょう し
(秋田県由利本荘市)



出演日時：11/1 10:45～ 演目：獅子舞、三番叟、志賀団七

今から243年前の天明3年（1783）、大飢饉により多くの人々が亡くなったため、屋敷集落の人々が荒沢村（現由利本荘市矢島町荒沢）におもむいて、京都醍醐寺三宝院の修験者である本海行人が伝授した獅子舞を習得し、五穀豊穰、悪疫退散を祈願したのが屋敷番楽の始まりとされています。

平成24年には、由利本荘市の3団体、にかほ市の5団体とともに計8団体が「鳥海山北麓の獅子舞番楽」として国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択され、令和8年3月24日、「鳥海山北麓獅子舞番楽」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。今回は、次の演目を予定しています。

○獅子舞… 悪疫退散を願う舞。清めの舞として、家屋の新築や収穫の儀式でも舞われています。

○三番叟… 翁舞と対になって舞われる「式舞」のひとつ。

○志賀団七… 碁太平記白石噺」を題材に、番楽で舞う「武士舞」のひとつ。